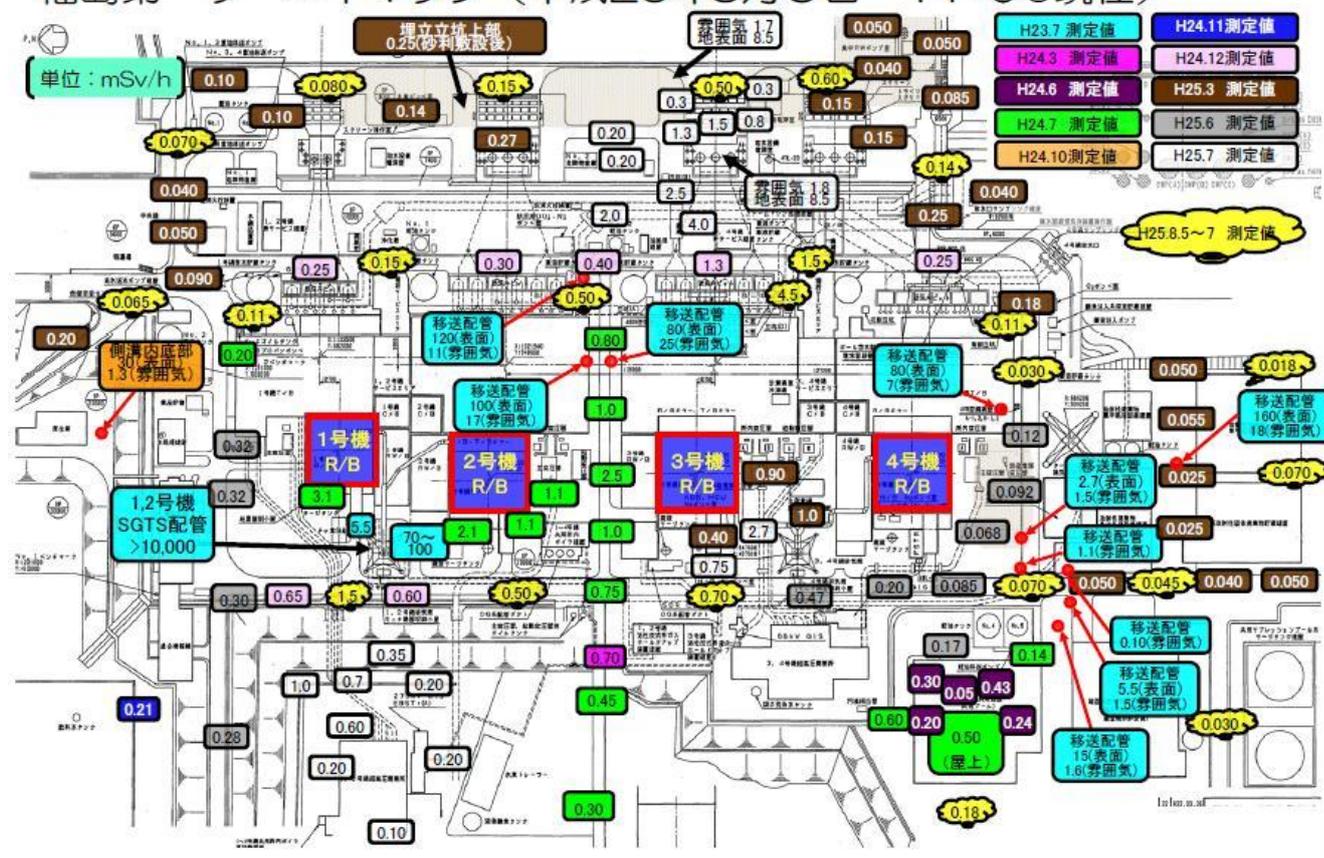


命がけの被曝労働の日常、 大量の被曝労働者は闇に葬り去られるのか。

2013年10月9日、原子炉を冷却した水から塩分を取り除く装置から7トン以上の汚染水は漏れた。接続部をつなぎ直して配管付近の弁を閉めたことで50分後に水漏れが停止した。このとき、現場にいた協力会社の作業員6人が汚染水を浴びた。原子力規制庁によると、8月13日に淡水化前に採取した水には、ストロンチウム90などベータ線を含む放射性物質が1リットル当たり3700万ベクレル含まれていた。今回漏れた水も同レベルとみられる。

福島第一サーベイマップ（平成25年8月8日 17:00現在）



上の図は福島第一原発敷地内の放射線量の測定値だ。単位はミリシーベルト毎時 (mSv/h)。労働者の年間被曝量の制限値は年間50 mSv、5年間で100 mSv。これを超えると仕事を失う。したがって年間20 mSvを目安としている。一般人の年間1 mSvの20倍だ。

1から3号機付近は数mSv/h。2.5mSv/hのところだと8時間作業すると20mSvとなる。1号機2号機の中のSGTS配管部付近はなんと10Sv/hを超えている。約40分で致死量に達する。とても近づけない。こんな環境の中で毎日約3000人の労働者が大量に被曝しながら作業を進めている。

5 mSv を超えて被曝した作業員は何人？

福島原発事故前 2009 年の日本全国の放射線業務従事者の総数 83489 人の一人当たりの平均の被曝量は年間 1 mSv で、20mSv を超えたものは存在せず、15～20mSv であったものは 0.3% の 258 名だった。(データ出典：日本政府(2010)「原子力の安全に関する条約日本国第 5 回国別報告」) 今回の事故で労働環境は一変した。東京電力は毎月、作業員の累積被ばく量を公表している。下の図は 2013 年 8 月に公表されたもの。これによると、7 月の 1 ヶ月に 50 mSv を超えた作業員は 35 人。この人は年間の限度を超えたので法令上働くことができない。もちろん、公開された値は線量計を着けてからであり、また線量計外しなどあるために実態はこれ以上と考えられる。

2. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業員の 6 月末 (H23.3.11～H25.6.30) と 7 月末 (H23.3.11～H25.7.31) の累積線量分布の比較を表 2 に、6 月末 (H25.4～H25.6) と 7 月末 (H25.4～H25.7) の累積線量分布を表 3 に示す。

表 2

| 区分(mSv) | H23.3～H25.6月 | | | H23.3～H25.7月 | | | 増減 | | |
|-------------|--------------|--------|--------|--------------|--------|--------|------|------|-----|
| | 東電社員 | 協力企業 | 計 | 東電社員 | 協力企業 | 計 | 東電社員 | 協力企業 | 計 |
| 250超え | 6 | 0 | 6 | 6 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 200超え～250以下 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 150超え～200以下 | 24 | 2 | 26 | 24 | 2 | 26 | 0 | 0 | 0 |
| 100超え～150以下 | 118 | 20 | 138 | 118 | 20 | 138 | 0 | 0 | 0 |
| 75超え～100以下 | 241 | 88 | 329 | 241 | 90 | 331 | 0 | 2 | 2 |
| 50超え～75以下 | 304 | 641 | 945 | 309 | 669 | 978 | 5 | 28 | 33 |
| 20超え～50以下 | 613 | 3798 | 4411 | 610 | 3833 | 4443 | -3 | 35 | 32 |
| 10超え～20以下 | 517 | 3555 | 4072 | 525 | 3557 | 4082 | 8 | 2 | 10 |
| 5超え～10以下 | 425 | 3323 | 3748 | 423 | 3378 | 3801 | -2 | 55 | 53 |
| 1超え～5以下 | 629 | 6344 | 6973 | 634 | 6414 | 7048 | 5 | 70 | 75 |
| 1以下 | 934 | 6995 | 7929 | 964 | 7150 | 8114 | 30 | 155 | 185 |
| 計 | 3812 | 24768 | 28580 | 3855 | 25115 | 28970 | 43 | 347 | 390 |
| 最大(mSv) | 678.80 | 238.42 | 678.80 | 678.80 | 238.42 | 678.80 | - | - | - |
| 平均(mSv) | 24.56 | 10.59 | 12.46 | 24.36 | 10.61 | 12.44 | - | - | - |

【放射線作業従事者手帳】

放射線業務従事者に事業者が与える個人の被ばく量を記入する手帳。記入、保管は元請けや下請け会社。電子データを公益財団法人「放射線影響協会」が管理する。国が責任をもって管理しているわけではない。事実 2013 年 2 月東電は原発事故後に働いた作業員 2 万人を超える被曝線量の記録を提出していなかった。また、労災認定には労働者にとって欠かすことのできないデータなのだが、どういうことか 1990 年に血液検査のデータの記載欄がなくなった。

1979 年の「放射線作業従事者手帳」の血液検査結果のページ血球のデータがある。

| VII 血液検査等の記録 | | | | 血液型 | | | | | | | |
|--------------|----|--------------------------|------|------|-----------|---------|---------------------|----------|-----------|------|-------|
| 検査年月日 | 区分 | 赤血球数 ×10 ⁴ | 白血球数 | 血色素量 | 白血球百分率 | | | | | | |
| | | | | | リンパ球 % | 単球 % | 好中球 桿状核% 分葉核% | 好酸球 % | 好塩基球 % | 全血比重 | |
| 54. 5. 22 | | 420 | 4900 | 13.8 | 46 | 5 | 6 | 35 | 7 | 1 | 1.056 |
| 54. 10. 24 | | 473 | 4800 | 15.2 | 40.5 | 3.0 | 5.0 | 42.5 | 7.0 | 2.0 | 1.060 |

漫画『いちえふ』に見る作業員の実態



漫画雑誌『モーニング』に掲載された『いちえふ』は知られざる作業員の実態を明らかにした。作者竜田一人さんは、2012年6月から12月までの半年間、福島第一原発で働いた。作業員の実態を知らそうと描いたという。

ある原発作業員の声（2013年10月14日 Facebook に掲載）

先ほど、福島第一原発に働いている知り合いから連絡がありましたので紹介します。

・引用開始・

福島第一原発、だめだ。...現場の意識レベルが最近低下して、原発の知っている人が居なくなってきた。線量計も身に付けさせてもらわず、4時間⇒7時間作業に伸びた。人が足りてない。素人ばかりだ。さらには、自分の被曝量もわからない。やり方はむちゃくちゃ。日当もほとんど上がらない。

最近では、会社をクビになったおっさんまできだした。多分、浮浪者も居なくなっているのかも。夏も終わり涼しいが風が強いと埃が舞って、さらに被曝量が増えている。俺の靴下に入れているシート型線量計も100ミリシーベルトはこえていた。あと、二週間前に、同じ作業員が、急性心不全で亡くなった。そいつは建てや内の作業で、高レベル放射能地区だった。

もう、誰も止められないよ。どうしょ。このまま福島第一原発は続いていくのか心配。タンクの汚染水漏れ、ホースのつなぎでの被爆なんて、現場ではわからない。全てにおいて報道で知る。アルプスも不具合治しながらだが、除去されている補償がない。現場にいと、綺麗事なんてない。2年半、なんにもできていないみたいだ。なんとなく周りに建家を立てているが、3号機なんて近寄れないし。

事実を報道しない理由はわかる。報道したら、福島第一原発はチェルノブイリよりタチが悪い。東電も、毎日何かやっているが、メルトスルーすら、なんにもわかっていないみたいだ。これから、また、どうなるかわからないが、もう少し働いてみる。今日の夕方に、嘔吐により病院行ったが緊急入院。白血球が異常値らしい。もう、作業員も使い捨てだ。また、連絡するな。

・引用終わり・